



松藤 淑美 特任助教

【男女共同参画推進室】

本年1月1日付で男女共同参画推進室に着任いたしました。博士課程修了後1年目の新米ですが、宜しくお願いいたします。

私は微生物について研究を行っています。微生物は環境の変化に対し、実に巧妙な適応機構を持っています。その機構を明らかにすることは、様々な産業分野での技術改善を可能にし、私たちに利益をもたらしてくれます。私はそのような微生物の持つ無限の可能性に魅せられ、博士課程に進学しました。そこでは二日酔いの原因物質として知られる毒性物質であるアセトアルデヒドに対する応答機構の解明と産業への応用を目指し、さらには二日酔いにならずにお酒を楽しむための薬ができる! という夢を抱きながら、研究に没頭してきました。しかし、ふと10年後の自分をイメージしてみた時、結婚は? 出産は? 研究と家庭の両立は出来るの? といった不安が湧いてきました。これは、これから職業として研究を続けようとしている若い研究者の方なら一度は感じたことがあるものではないでしょうか。そのような時に縁あって男女共同参画推進室のメンバーとして加えていただきました。

実際に、ライフイベントにより研究を離れる研究者は数多くいます。若い世代の目線から現状の問題点の解決に取り組み、性差に関係なく喜びと充実感を持ちながら研究を続けられる環境づくりに少しでもお役に立てればと思っております。

クリスマス交流会を開催しました。

平成22年12月22日(水)のランチタイムに男女共同参画推進室主催のクリスマス交流会を開催し、32名の参加がありました。参加者は、男女問わず、学長・教職員・ポスドク・大学院生・学部生とバラエティーに富んだメンバーとなりました。自己紹介の後、ケーキと飲み物を食べながら、ゲームや参加者同士の交流を楽しみました。



参加者の皆さんに、今一番欲しいものを書いてもらいました。分けをしていったら、「お金がかかり、実用的なもの」が多くありました。



自己紹介の時に、それぞれの今年一番の「MY NEWS」を発表しました。



ケーキ盛り合わせ、紅茶・コーヒー・お茶など、好評でした☆

ロールモデル集について

「女性研究者支援モデル育成」事業の一環として、岐阜大学の女性研究者の活躍を紹介するロールモデル集(冊子)を作成することとなりました。研究の面白さを伝えるとともに、女性研究者の裾野の拡大と女子学生への研究意欲の向上を目的としています。男性研究者に比べ女性研究者がまだ少ない要因の一つは、女子生徒・学生や保護者が、先輩となるロールモデルを知る機会が少ないことだと言われています。そこで、このような冊子を学内外に配布し、紹介する機会をもつことで、進路選択の一助になればと考えています。ご関心を持っていただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

岐阜大学男女共同参画推進室(人事労務課男女共同参画係) URL: <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel: 058-293-3378 Fax: 058-293-3396 E-mail: sankaku@gifu-u.ac.jp

* 男女共同参画に関するご意見・ご要望は男女共同参画推進室へお願いします。



~ NEWS Letter ~ 7号 2011.1

目次

第20回岐阜シンポジウムを開催しました。	P1
アンケート結果	P2
保育園にサンタさんがやってきた。	P2
出前講義を実施しました。	P3
第4回女性医師就労支援の会開催のお知らせ	P3
室員紹介 vol.5	P4
クリスマス交流会を開催しました。	P4
ロールモデル集について	P4



【開会の挨拶: 森 秀樹岐阜大学長】



【来賓挨拶: 猪股志野氏(文科省)】



【基調講演: 黒瀬友佳子氏(帝人)】

冒頭の挨拶で学長から、「男女共同参画について一番遅れているのは大学ではないか。特に国立大学法人は、86校の中で女性の学長は3大学のみであり、欧米に比べ非常に低い」というお話がありました。

次に来賓挨拶では、文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課人材政策企画官の猪股 志野氏が、「アメリカでの女性研究者比率が34%に比べ、日本は13%。日本でも女性研究者がもっとその能力を発揮できるのではないかと。大学は地域をリードし、世界で活躍できる研究者を育ててほしい」と述べられました。

続いて、基調講演では、「女性管理職の養成とダイバーシティマネジメント」と題して、黒瀬友佳子氏(帝人クリエイティブスタッフ株式会社人財部ダイバーシティ推進室長)にご講演いただきました。黒瀬氏は帝人における「女性管理職の養成とダイバーシティマネジメント」の取組みの詳細を説明し、「ダイバーシティ推進」は、これまでの活動を土台に長期的視点で取り組むべきであり、次のステップとしては、男性の当事者意識がさらに必要で、ワーク・ライフ・バランスの実現により女性活躍推進からダイバーシティ(多様な人財を活かす戦略)推進へ向かうべきであると述べられました。

岐阜県内の企業の取組として、未来工業株式会社の阪本 誠総務部総務課長からは、「社員を大切に、自主的にできる社員を育てることが大事。社員の満足度を高めることを考えていたら、おのずとワーク・ライフ・バランスが取れるようになった。」との報告がありました。続いて株式会社市川工務店の小川 健総務部長からは「建設や土木分野を志望する女性は少ないが、実際には女性の目線が必要。女性が働きやすい環境づくりと女性のキャリアアップが課題である」との報告がありました。

その後、三宅恵子男女共同参画推進室特任准教授より本学の男女共同参画推進事業の紹介があり、最後に、コーディネーター=林 正子男女共同参画推進室長、パネリスト=箕輪照子岐阜県環境生活部男女参画青少年課長、阪本 誠未来工業株式会社総務部総務課長および清島真理子岐阜大学医学系研究科教授(女性医師就労支援の会代表)で、女性の活躍促進策やワーク・ライフ・バランスについて分野ごとの課題を協議しました。

参加者は講演等に熱心に耳を傾け、男女共同参画を推進する上で、非常に意義深い内容のシンポジウムとなりました。



【未来工業・阪本氏(左)と市川工務店・小川氏(右)】



【三宅特任准教授】



【パネルディスカッション: 左から、林室長・箕輪氏・阪本氏・清島氏】

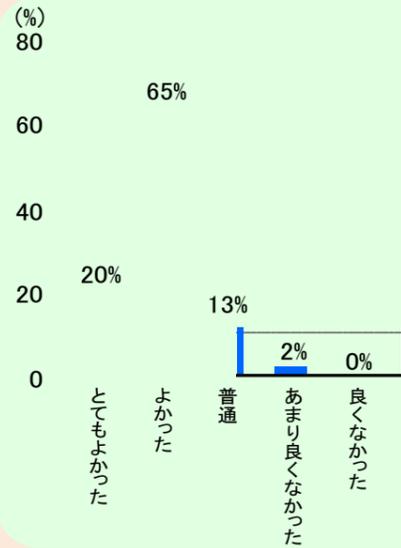


【閉会の挨拶: 八嶋厚岐阜大学理事】

第20回岐阜シンポジウム アンケート結果

*アンケート回答数:54名

(1)このシンポジウムの満足度を教えてください。(3)このシンポジウムについての感想、ご意見、質問



(2)今後の岐阜シンポジウムで取り上げたらよいと思うテーマがあればご記入ください。(複数回答可)

A 男女共同参画	18名	
B 教育問題	18名	
C 生命科学	7名	
D 環境問題	14名	
E 地域再生	25名	
F スポーツと健康	6名	
G テクノロジー	1名	
H 医療	6名	
I その他 (合計3)	育児	1名
	産学連携	1名
	地域史	1名

ご協力ありがとうございました。これからの活動に生かしていきたいと思ひます。

学内保育園
「すこやか」
「ほほえみ」に

サンタさんがやってきました。

12月22日(水)、学内保育園に一足早くサンタクロースがやってきて園児にプレゼントを配りました。「すこやか」(0、1歳)では、サンタクロースが怖かったのか、多くの子供たちが泣いていましたが、「ほほえみ」(2歳以上)の園児は、サンタクロースからプレゼントをもらい、とても喜んでいました。また、プレゼントをもらった後に、サンタクロースに「ありがとう」ときちんとお礼ができました。



「サイエンス夢追い人」育成プロジェクト

出前講義を実施しました。

平成22年12月16日(水)に応用生物科学部産学連携研究員の稲垣瑞穂さんが、岐阜大学教育学部附属中学校の2年生160名を対象に出前講義を実施しました。このプロジェクトは、小中高生に身近なロールモデルとなるポスドクや女性大学院生が研究の魅力や歩んできた道を紹介することによって、「サイエンス夢追い人」=「科学者を志す学生」を増やすことを目的に発足しました。

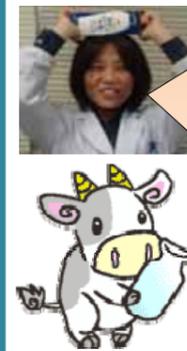
記念すべき第1回の講義のタイトルは「ミルク研究奮闘記 命をつなぐ不思議な食べ物」。講義の前半では、研究紹介に焦点をあて、ミルクやヨーグルトの上清(ホエイ)に含まれるあるタンパク質が乳幼児に下痢を引き起こすロタウイルスの感染を防止できることについて、写真やイラストなどを用いて中学生にわかりやすく伝えました。講義の後半では、自らの進路選択の経緯について、幼いころから現在に至るまでを振り返り、悩みながら壁にぶつかりながら、やりたいことにたどり着いた経験を語りました。最後に中学生へのメッセージとして「やりたいこと、分からないのは当たり前。やりたいことにたどり着くには、興味あることにどんどん挑戦すること」を伝えました。



講義後のアンケート結果

42名増加

- ・以前から科学や研究に興味があった生徒: 97名(62%)
- ・この講義を受けて科学や研究に興味を持った生徒: 139名(88%)
- ・この講義を受けて大学へ進学したいと思った生徒: 131名(83%)
 - 理系: 69名(53%) 男性43名 女性26名
 - 文系: 34名(26%) 男性8名 女性26名
 - その他・無回答: 28名(13%) 男性16名 女性12名
- ・この講義を受けて大学院へ進学したいと思った生徒: 68名(43%)
 - 男性40名 女性28名
- ・今後もこのような講義を受けたい生徒: 134名(85%)



講師(稲垣 瑞穂さん)の感想

担当させていただき、今まで感じたことのない魅力の研究者を発見(学ばせていただいた)ように思います。子どもたちが興味を持って耳を傾けてくれたこと、本当にうれしかったですし、感謝のきもちでいっぱいです。話を熱心に聞いてくれた子どもたちの雰囲気が忘れられませぬ。

受講者の感想(抜粋)

- * 今回の講座を聞いて、自分の将来について考えようと思いました。ウイルス関係に興味を持ちました。
 - * 大学の様子や仕組みなどを見てすごいと思ったし、ちょっと興味を持ちました。
 - * 理系に進もうと決心出来ました。
 - * 岐大に入りたいと思っているので、良い経験となりました。
 - * こういう講座でしか見られないような実験道具や実験結果を見ることができて、おもしろいと思いました。
 - * こういう仕事もあるんだと関心を持ちました。
 - * 研究というのは、ただ新しいことを発見するだけでなく、それを通していろいろな人が救われていることがわかりました。
 - * 大学院には行かなくてもいいと思っていたけど、行って、さらに知識を深めたりするきっかけとなり、行くのも悪くないと思いました。
 - * 自分の将来についてイメージがついて来ました。
 - * 人生はやり直せるということや、興味のあることにかかわる仕事につけば毎日が充実することを教えてください、ありがとうございました。
- などなど...生徒の皆さま一人ひとりがA4一枚びっしりに感想を書いてくださいました。全てを紹介できなくて残念です。生徒の皆さま、附属中学校の淀川雅夫先生はじめ関係者の皆さま、ありがとうございました。

第4回 女性医師就労支援の会 開催のお知らせ

第4回 岐阜大学医学部・附属病院女性医師就労支援の会
「女性医師のキャリア形成を考える」

日時: 平成23年2月10日(木)16:30~18:00

場所: 医学部棟1階 大学院講義室

【講演】

- (1)「大学病院における医師の仕事」
講師: 田辺 久美子氏(岐阜大学 麻酔科疼痛制御学 講師)
- (2)「しなやかな戦略。ポジション、生きがい、仕事がいを得るために」
講師: 山本 明美氏(旭川医大 皮膚科 准教授・復職・子育て/介護支援 二輪草センター 副センター長)

第4回
岐阜大学医学部・附属病院女性医師就労支援の会
開催のお知らせ

日: 平成23年2月10日 木曜日
午後4時30分~6時00分
場所: 岐阜大学医学部1階 大学院講義室

今回のテーマは
「女性医師のキャリア形成を考える」です。

各学会の専門医取得の条件についての紹介、先輩女性医師による臨床と研究の両方についての話、また、旭川医科大学准教授で、復職・子育て・介護支援 二輪草センター副センター長 山本明美先生にお話を伺います。いかにキャリア形成していくか、ヒントがいっぱい!

共催: 岐阜大学医学部、附属病院女性医師就労支援の会、岐阜大学医学部附属病院産学連携センター、岐阜大学産科、岐阜大学産科、岐阜大学産科、岐阜大学産科